# 4 単元名 「光を当てよう」(第3学年)

# (1) 単元の目標

鏡ではね返した日光を壁などに当てる活動から、日光の進み方や当たったところのあたたかさについての問題をもち、日光の進みかたやあたたかさについて、比較しながら調べることができるようにする。また、日光を重ねて当てたり、虫めがねで日光を集めたりして、日光を重ねたり、集めたりしたときの日光が当たったところの明るさやあたたかさについて比較しながら調べ、日光の性質についての考えをもつことができるようにする。

## (2) 単元の評価規準

(2)	<b>一十九ツ町间条十</b>	<del>,</del> ,
$\Box$	おおむね満足できる状況	十分満足できる状況
圓	鏡で日光をはね返すことができることに興	鏡ではね返した日光に興味を持ち、進んで的
心	味を持ち、進んで的当ての活動に取り組も	当ての活動に取り組んだり、的の当て方につ
$ \cdot $	うとする。	いて発言したりしている。
意	虫めがねを使って日光を集めることができ	虫めがねを使って日光を集めることに興味を
歓	ることに興味をもち、進んで紙が焦げるこ	もち、虫めがねの向きや距離を変えるなどし
$ \cdot $	とを確かめようとする。	て、集めた日光がどのようになったときに紙
態		がよく焦げるかを、進んで調べている。
度		
	鏡で日光をはね返した活動の結果から日光	鏡で日光をはね返した実験の結果をもとに、
	は直進し、日光が当たったところは、明る	日光は直進すること、日光が当たったところ
	く暖かくなると考えることができる。	は明るく、暖かくなることを具体的に説明す
		_ ることができる。 
思	鏡ではね返した日光を重ねると、明るさや	鏡ではね返した日光を重ねるほど、日光が当
考	暖かさが増すと考えることができる。	たったところの明るさや暖かさが増すことを
		│ 重ねた日光の数と日光が当たったところの明│
		るさや暖かさの結果を関係付けて説明するこ
		_ とができる。 
	虫めがねで集めた日光の大きさや形と、紙	虫めがねで集めた日光の大きさや形を変えて
	の焦げ方との関係を考えることができる。	│ 調べた結果から、小さく、丸く集めた方が、│
		日光が集まって、紙が早く焦げることが説明
		│ できる。また、集光の実験と関係付けた発言│ │
$\vdash \vdash$		をしている。
	鏡ではね返した日光の進み方や日光の当た	
技	ったところの明るさと暖かさを比較しなが	
能	ら調べ、結果を記録することができる。	│ 方法で調べ、結果を正確に記録することがで│
		きる。   ロッケ まんた しょ の 四 ス ナ
表	鏡で日光をはね返して重ね、その部分の明	
現	るさや暖かさの違いを比較して、結果を記	
	録することができる。	比較したり、いくつかの方法で調べたりして
$\vdash \vdash$	ロルは 古しまがにから 焼むじずはなど	結果を正確に記録することができる。 ロルは、恵っまぐに進む、締むよるはわるま
	日光は、真っすぐに進み、鏡などではね返	
知	すことができることを理解している。	ことができることを、身の回りの現象と結び    ctttを開始している
		付けて理解している。

理	鏡ではね返した日光を当てた物は明るく、	鏡ではね返した日光を当てた物は、明るく、
解	暖かくなることを理解している。	暖かくなり、物によって暖まり方が違うこと
		を理解している。
	鏡ではね返した日光を重ねると、明るさや	鏡ではね返した日光を重ねるほど、明るさや
	暖かさが増すことを理解している。	暖かさが増すことを日光の光の量と関係付け
		て理解している。
	虫めがねに日光を当てると日光を集めるこ	虫めがねに日光を当てると日光を集めること
	とができることを理解している。	ができ、集めた日光の大きさが小さいほど紙
		が焦げることを光の量と関係付けて理解して
		いる。

# (3) 指導と評価の計画

(0)		日寺と計画の引 国			
次	時	学習	活 動	主な評価規準	評価の方法
第	1	鏡は、日光をよくはね返す	「ことを知り、鏡の取	マリ扱 関心・意欲・態	ぐんぐんシート
1		いに注意しながら、鏡を仮	もって日光をはね返し	、、い度	(はじめに)
次		ろいろなところに当ててみ	る。		
	2	前時までの学習や今までの	)生活経験から、鏡で	·はね	観察
		返した日光の進み方や日光	色の当たったところの	)暖か	
		さについての問題を話し合	う。		]
	3	鏡ではね返した日光を地面	īにはわせたり、日光	技能・表現	ぐんぐんシート
		む道筋に物を置いたりして	日光の進み方を調べ	る。 知識・理解	(1)
		鏡ではね返した日光を手に	当てて、暖かさを調べ	べる。	
	4	日光は直進し、日光が当た	く、思考	ノート	
		暖かくなることをまとめる	0		
第	5	はね返した日光を重ねて当	4てたところは、より	明る	観察
2		く、暖かくなるのかを話し	合う。		<u> </u>
次	6	はね返した日光を重ねて当	省て、日光の当たった	:とこ 技能・表現	
		ろの明るさを見比べたり、	手に当てて暖かさを	比べ 知識理解	
	_	たりする。			
	7	日光を重ねて当てたところ	らは、より明るく、暖	かく思考	ぐんぐんシート
		なることをまとめる。		知識・理解	(2)
	8	日光を使ったいろいろな」	夫の資料を読み、身	·の回	ぐんぐんシート
			りでの日光の利用について話し合う。		(3)
第	9	虫めがねを使って日光を集	<b>틯めて、紙が焦げるこ</b>	とを 関心・意欲・態	ぐんぐんシート
3		確かめる。		度 、思考	(4)
次		どのようにして日光を集め	どのようにして日光を集めると、紙が焦げやすいか		観察
		を調べる。			
<b></b>	2	補充的な学習	発展的な学習	補充的な学習	
充		鏡で日光をはね返す迷路	虫めがねで日光を	集め知識・理解	学習カード
•		遊びをして、光の進みか	て、切り絵遊びを	して <b>発展的な学習</b>	
発		たをもう一度調べる。	光の進み方や暖か	さを思考発	学習カード
展			調べる。		

## (4) 補充的・発展的な学習の位置付け

#### 補充的な学習の位置付け

自分で考え紙に描いた迷路を使って鏡で日光をはね返し迷路遊びをすることにより、光が真っすぐ 進むことをものづくりや遊びを通して楽しみながら理解することができる。

#### 発展的な学習の位置付け

虫めがねで光を小さく集めて紙を焦がしながら切り絵遊びをすることで、虫めがねで集めた日光の 性質について考えを広げることができる。また、中学校で学習する光の性質につなげることができる。

## (5) 補充的・発展的な学習を一人で指導する場合の指導

# 本時のねらい

#### 補充的な学習

鏡で日光をはね返す迷路遊びをとおして、光は真っすぐに進む性質があることを理解する。

#### 発展的な学習

虫めがねを使って日光を集め、その光の大きさや形と紙の焦げ方の関係を考えることができる。

#### 準備

#### 補充的な学習

鏡、模造紙、マジックペン、学習カード

### 発展的な学習

虫眼鏡、画用紙、マジックペン、学習カード

#### **展開** (太字は学習活動 細字は教師の支援及び留意点・授業は、2時間扱い)

補充的な学習	発展的な学習	時		
1 本時は、模造紙に迷路を描き、鏡を使って	1 前時の授業で行った虫めがねの実験の復			
日光をはね返す迷路遊びをしながら光の進み	習をノートを見ながら行う。	5		
方について学習することを知る。	・教師が補充的な学習を行っている間に、ノ	分		
・教室の前面の黒板を利用し、本時のめあてと	ートを見ながら虫めがねを使った実験の復			
内容(光の進み方についてもう一度調べなが	習をさせる。			
ら迷路遊びをすること)を説明する。				
2 鏡ではね返した日光の進み方について自分	2 虫めがねで日光を集める切り絵遊びをし			
の考えを学習カードに書く。	て集めた日光の大きさや形と紙の焦げ方の	10		
・教師が発展的な学習を行っている間に、学習	関係を調べる実験を行うことを知る。	分		
カードに自分の考えを書くよう伝える。	・教室の背面黒板を利用し本時のねらいと内			
・単元で学習したことをノートなど参考に考え	容(虫めがねを使った切り絵遊び)を説明			
させる。	する。			
	・学習カードを配布し、自分の考えを書くよ			
	うに伝える。			
3、何名かのグループで模造紙に迷路を書く。	3 画用紙に切り絵をするための絵を描く。	30		
・迷路は、児童の考えで自由に書かせる。	・画用紙には、黒色のマジックペンで書かせ	分		
・協力して行わせる。	る。			

- 4 外に出て迷路遊びをし、光の進み方を調べ、 4 外に出て虫めがねで切り絵遊びをし、光 学習カードに記録する。
- ・鏡を使うときの注意点を話し、安全面に配慮 する。
- ・時間を十分確保し、行わせる。

- の集まり方を調べ、学習カードに記録する。
- ・虫めがねを使うときの注意点を話し、安全 35 面に配慮する。 分
- ・時間を十分に確保し、行わせる。

#### 5 本時の学習のまとめをする。

- ・教室にもどり自分の考えがどうだったか補充・発展学習を行ったそれぞれの児童から学習力 10 ードに記録したことや感想を聞く。 分
- ・ぐんぐんシートにまとめを記入させる。

### **評值規準**(本時)

## 補充的な学習

光は、真っすぐに進む性質があることを理解できる。(知識・理解)

# 発展的な学習

めがねを使って日光を集め、その集めた光の大きさや形と紙の焦げ方の関係を考えられる。(思考)